

ソロ・マリンバ奏者として演奏活動を始めて以来、四半世紀以上の時が流れた。その間、新作委嘱によってこの楽器のためのレパートリーを広げることが、私の活動の核心となった。振り返ると、各国の優れた作曲家たちと、何と多くの素晴らしい時を共にしてきたことであろうか。彼らの作品を世界初演する時に味わう震えるような興奮、そして、再演を重ねていくにつれて識る、自らと作品が同化し成長していく感覚——、演奏家として作品創造の過程にここまで関わってこれたことは、幸せと言うほかはない。

今回のリサイタルでは、音楽と文学における古典に啓発された作品を演奏する。音楽の分野では、バッハのコラールと、それを元にしたボイル氏作曲の変奏曲を並置する。後半には、バッハとハーダー氏作曲の前奏曲とフーガを、やはり並置することで、比較を際立たせたい。

「枕草子」では、日英の二か国語で朗読を行い、アメリカ人作曲家ショーバー氏の心中へと入っていきたい。日本の文化を外国から見る視線は、米国で演奏活動を始めて20年を超える、私自身の視線とも重なるものである。

「現代によみがえる古典」という演奏会を考えたのは、長い年月多くの人々に愛されてきた芸術作品に対する尊敬が、前述した幾多の作品創造の経験を通して、いやましに増してきたからだ。その尊敬を新作創造へと繋げることによって、クラシック音楽は、過去の作品を演奏するだけでなく、過去の芸術や世界の様々な文化をも吸収して成長し続ける音楽の形だ、ということを示す一例となれればと願っている。

マリンバ奏者 名倉誠人



マリンバ 名倉 誠人 Makoto Nakura

名倉誠人は、彼の世代を代表するマリンバ奏者として、四半世紀にわたり、南北アメリカ・ヨーロッパ・アジアの15の国々で、リサイタル、音楽祭への出演、オーケストラとの共演など、国際的な活躍を繰り返してきた。「我々の時代の音楽」を常に求める姿勢に応え、各国の優れた作曲家達から、数多くの新作が彼に捧げられている。近年では、ベンジャミン・ボイル作曲の「マリンバ協奏曲」を、モントリオール室内管弦楽団と世界初演を行った。特に米国では、カーネギー・ワイル・ホールやケネディー・センター等でのリサイタル活動に加え、NY室内管弦楽団、シカゴ・シンフォニエッタ、ロサンゼルス室内管弦楽団等多くのオーケストラとも協奏曲を共演し、その活動は全米41州にわたっている。カナダやメキシコでも国際音楽祭やオーケストラにしばしば招かれ、メキシコ・シティ国立芸術院でのソロ・リサイタルは、スタンディング・オベーションを受けた。

近年は、ヨーロッパでの活動も多い。ベルリン・フィルハーモニー・ホールでの、真島俊夫作曲マリンバ協奏曲「大樹の歌」の欧州初演や、パリでのソロ・リサイタル、そして、英国BBCラジオでも生演奏した、マリンバと混声合唱のためのプロジェクト「森の三章」など、各地で好評を博している。

日本でも、サントリーホール、神戸新聞松方ホールなどで継続して行っている、全委嘱作品によるリサイタルや、「森と木の音楽」コンサート、オーケストラや吹奏楽との協奏曲共演など、全国で演奏活動を繰り返している。また、ダンス、朗読、映像など、他分野の芸術とのコラボレーションも数多くプロデュースし、マリンバの新しい地平を切り拓いてきた。際立った表現力と、色彩感に富む彼の演奏は、「マリンバを、ストラディヴァリウスにしてしまう」という批評が出るほど、高い評価を受けている。

2001年には、ISGM新曲委嘱基金を創設し、独奏曲・協奏曲・室内楽曲を網羅する、マリンバのための作品を、世界各地の作曲家に委嘱。優れた音楽財産を、数多く次世代に残す活動も行っている。

1994年、権威あるYCA国際オーディション(ニューヨーク)に、マリンバ奏者として初めて優勝して以来、文化庁芸術祭新人賞、第一回松方ホール音楽賞大賞、青山音楽賞バロックザール賞、神戸灘ライオンズクラブ音楽賞、第一回Kobe Art Award大賞を受賞。武蔵野音楽大学および大学院、英国王立音楽院で学ぶ。英国王立音楽院からは、卓抜した活動を行う音楽院出身者に与えられる栄誉、ARAMも受けている。

教育活動にも情熱を注ぎ、英国王立音楽院、イーストマン音楽院、サンパウロ州立大学、ソウル国立大学、香港演藝學院など世界各地の大学をはじめ、全米65校を超える大学で、マスタークラスを行ってきた。京都市立芸術大学では、2009年から3年間非常勤講師を務めた。また、日米の小・中・高等学校を訪れ、これまでに数十万人の子供達のために演奏してきている。神戸市出身。パーカッショングループ72のメンバー。ニューヨークに在住。

委嘱作品を収録した四枚のCD(「森と木の音楽」、「Ritual Protocol」、「Triple Jump」、「田辺恒弥マリンバ作品集」)と、全作バッハ作品のCD「Bach Beat」が発売中。そして昨年には、「Bach Beat II」(Naxos Japanレーベル)がリリースされ、全日空の機内音楽に使われるなど、好評を博している。これらの録音は、他分野のアーティストのインスピレーションともなっており、コム・デ・ギャルソンの2017年春夏ファッション・ショーでフィーチャーされたのを始め、世界各地のダンス・カンパニーにも取り上げられている。

名倉誠人公式ウェブサイト: www.makotonakura.com 名倉誠人ブログ: <http://marimbamak.exblog.jp/>

**** 委嘱作品の作曲家たち ****

ベンジャミン・ボイル Benjamin C.S.Boyle



ベンジャミン・ボイルの作品は、オペラ、管弦楽曲、室内楽曲、合唱曲、歌曲、ピアノ曲など、多岐の分野にわたり、それらの作品は、アムステルダム・コンセルトヘボウ管弦楽団、シカゴ・リリックオペラ等世界中の演奏団体によって演奏されている。芸術歌曲では特に定評があり、2016年にはラッセル社から60数曲の歌曲が出版された。ナディア・ブーランジェーの教育法で訓練された彼は、ユニヴァーシティ・オブ・ペンシルヴァニアの博士課程を史上最年少で修了後、パリのブーランジェー研究所の副ディレクターとして教鞭を取っている。フィラデルフィア在住。

デイヴィッド・ショーバー David Schober



作曲家・ピアニストのデイヴィッド・ショーバーは、ニューヨーク市立大学クイーンズ校コーブランド音楽院でディレクターを務めている。彼の音楽は、ミネソタ交響楽団、ユタ交響楽団、ミロ弦楽四重奏団等、多くの演奏団体によって演奏が重ねられ、現代音楽六重奏団8thブラックバードのために作曲した協奏曲「Split Horizon」は、アメリカン・コンポーザーズ・オーケストラによって、カーネギーホールで世界初演された。オパリン音楽院、ユニヴァーシティ・オブ・ミシガン、ヨンセイ大学(韓国)で学ぶ。ニューヨーク市に在住。

レーン・ハーダー Lane Harder



「ロマン派後の反ミニマリズム」、「折衷が現代主義の調性を帯びた興味深さ」などと称される彼の音楽は、多くのCDや出版社に取り上げられている他、ASCAPや全米打楽器協会などから、数々の賞を受賞。ジョンズ・ホプキンス大学、ユニヴァーシティ・オブ・テキサス、キングス・カレッジ(英)、サザン・メソジスト大学(SMU)で学んだ彼は、現在SMUで作曲と理論を教えるほか、同校の現代音楽アンサンブルSYZGYのディレクターも務める。パリで行われる夏期セミナー EAMAで、毎年教鞭を取っている。打楽器奏者でもある彼は、ダラス地域で演奏活動も続けている。

名倉誠人 三都市リサイタル・ツアー 2017 「現代によみがえる古典」

神戸公演 11月4日(土) 午後4時開演
神戸新聞松方ホール

名古屋公演 11月6日(月) 午後6時45分開演
宗次ホール

東京公演 11月9日(木) 午後7時開演
東京文化会館小ホール

交通アクセス
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間 10:00~18:00
年中無休 (年末年始、施設メンテナンス日を除く)